

別冊太陽 小泉セツ 世界で一番良きママさん

池田雅之/監修 平凡社/刊

NHK連続テレビ小説のモデルとなった小泉セツ。ラ フカディオ・ハーン(八雲)の住み込み女中となり結 婚。再話文学の語り手として重要な役割を果たします。



その、しんどさは「季節ブルー」

長沼睦雄/著 日本文芸社/刊

季節の変化に伴う体と心の不調。西洋・東洋医学の知 識と知恵を用いて、春夏秋冬それぞれの不調を改善す るセルフケアを紹介しています。



あることを意識することです。

あらゆる差別は許されない

すべてを蒸したい せいろレシピ、おかわり!

りよ子/著 Gakken /刊

お湯を沸かして、せいろに食材を詰めて蒸したら出来 上がり。道具のそろえ方やお手入れ、保管方法まで紹 介。初めてせいろを使う方にもおすすめの1冊です。



12月			■ ・・・・ 休館日			
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

今月のおはなし会

12/17 (水)、20 (土)、21 (日)

開館時間 10:00~18:00 (日曜は17:00まで)

市民図書館 (33-4600)



こころのトビラ

自分の中の差別意識と向き合う

子ど

があります。 別をはじめ、 における主な人権課題としていま 別など、19項目の人権問題を国内 か。差別のない社会を目指すには まっていることはないでしょう 知らずのうちに誰かを傷つけてし を理由とする偏見や差別、 もの人権、 全ての人が差別をなくす当事者で しているわけではないから」と私 者ではないから」「自分が差別を には関係ないという意識が知らず 法務省では、女性の人権、 私たちの社会には、 高齢者の人権、 しかし「自分は当事 さまざまな人権問題 部落差 部落差 障がい



どのようなことを思い浮かべるで ることがあります。 い方を誤ると多くの人が傷ついた を発信できるSNSなどは、 で多くの人が利用するインタ 近なものなのです。例えば、 まう人がいるかもしれません。 しょうか。「難しい」とか「自分 ネット。特に個人が世界中に情報 にはあまり関係ない」と考えてし みなさんは、 偏見や差別にさらされたりす 人権問題は、実はとても身 人権問題と聞くと 世界 使

捉え、 す。 差別意識、見落としていませんか。 る必要があります。気づきにくい 誰もが無意識のうちに持ちかねな ることはできません。差別意識は 「自分は差別なんかしていない があるのではないでしょうか。 自身を振り返ってみましょう。 意識があるかもしれない」と考え いものです。「自分の中にも差別 と思っていたら、正しい知識を得 い情報を知らないことで生まれま 人権意識を育むことが大切です。 偏見や思い込みの多くは、 そのためにも、正しい知識と 解決に向けて努力する必要 正し

ものであるとの認識の下、

私たち

人一人が自分自身の課題として

歳のお誕生日おめ









^{ひきしぉぉぅ}き **曳汐桜綺**ちゃん (閤)



かきぞえひると
垣添尋登ちゃん (下敷田)



こたま ゅっま **児玉悠真**ちゃん (大塚)



(上時枝)



西耒路ゆきちゃん (四日市)



ませご いろは **眞砂彩葉**ちゃん (城 井)



_{をとうゆすを} **佐藤柚季**ちゃん (上 高)



きた **詩**ちゃん 真砂 副



ばく **雫**ちゃん みやざき (上拝田)



1月生まれの締切日は12月5日金です。2月生まれの締切日は1月7日似です。

【直接申込】写真(裏に赤ちゃんの氏名・ふりがなを記載)を以下の申込み先にお持ちください。 【ネット申込】右の申込フォームからお申し込みください。

※市内に住民票がある赤ちゃんのみの掲載となります。

※画像加工(特殊加工した写真、プリントシール、文字の挿入)したものはご遠慮ください。



秘書広報課 広報広聴係 📞 27-8106)、安心院支所 地域振興係 📞 44-1111)、院内支所 地域振興係 📞 42-5111)





Part32

まかせて会員養成講習会を開催します



子どもの預かりなど子育てのサポートを行う「まかせ て会員」の養成講習会を開催します。

対象/市内にお住まいで 20 歳以上の方 日時/令和8年1月26日(月)、27日(火) 10:00~15:00 (27日は12:30まで)(全2日)

場所/うさ児童館

申込期限/令和8年1月16日 金まで(電話にて申し込み) 申込・問合せ/うさ児童館(34-6711)

妊娠出産・育児に関する悩みや不安がある方は、子育て支援課へご相談ください。こども家庭センターの保健師が相談に 応じます。 問合せ/子育て支援課 母子保健係(27-8145)